

The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



2019年11月29日【第1160回】



クラブ会長ターゲット
「友情を育み、地域社会に貢献する」
"Foster friendships,
Contribute to the community."
2019-2020年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤正樹



国際ロータリーテーマ
「ロータリーは世界をつなぐ」
"ROTARY CONNECTS
THE WORLD"
2019-2020年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

創立：1994年8月8日
会長：佐藤正樹
副会長：高橋映治
幹事：杉浦孝浩
会報委員長：勝間田健一

11月29日（金）の卓話

東京臨海西 RC 創立 2 周年記念例会
臨海・臨海東・臨海西 3RC 合同例会
「パラボールリーグ協会設立経緯と目的、
第 1 回パラボールフェスティバルの報告」
一般社団法人パラボールリーグ協会
副会長 那須 勇元様

11月20日の出席率

会員在籍者数 41 名
会員出席者数 27 名
会員欠席者数 14 名
本日の出席率 69.23%
前々回訂正出席率 76.92%

12月4日の卓話

「本当の意味で
『社員を大切にする』組織とは？」
株式会社社職学
営業 1 部 第 2 営業課長
入澤 勇紀様

《第 1159 回例会報告 2019 年 11 月 20 日》

司会：小松会員



■点鐘：佐藤正樹会長



■ロータリーソング斉唱「それでこそロータリー」

：ソングリーダー 櫻田委員

■「四つのテスト」斉唱（歌）

■「ロータリーの目的」

東京臨海 RCVer. 唱和：高橋副会長

■来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤正樹会長

ゲストスピーカー 林 数馬様（東京 i シティ RC）

■ビジター紹介

本日は、いらっしゃいませんでした。



■会長報告：佐藤正樹会長

- ・年次総会を 12 月 18 日（水）例会後に開催致しますので、会員皆様の出席をお願い致します。
- ・2019 年 9 月台風 15 号災害支援金の募金箱を回しますので、ご協力お願い致します。
当クラブで集まった支援金は、第 2580 地区経由で、第 2790 地区（千葉）へ送金致します。
- ・ガバナー事務所より、2019 年 8 月九州北部豪雨災害支援金の内訳の連絡を頂きましたので、掲示致しました。

■幹事報告：杉浦幹事

- ・次週の例会は、子クラブである東京臨海西 RC の創立記念例会の為、11 月 29 日（金）12：30～1：30 に東京臨海 RC、東京臨海東 RC、東京臨海西 RC の 3RC 合同例会となっております。11 月 27 日（水）は例会はありませんのでご注意ください。
- ・子クラブ東京臨海東 RC 様より、12 月 3 日（火）開催の忘年家族会にお誘いを頂いております。参加頂ける方は、本日中に臨海 RC 事務局宛、お申込下さい。
- ・理事役員会議事録を 11 月 15 日に会員皆様へメール送信しました。
- ・バギオ日より 11 月号をメールボックスに配布しました。



■委員会報告

- ・オレンジボール担当（坂本康朋副委員長）
東京臨海 RC 旗争奪江戸川区学童オレンジボール大会閉会式は、11月23日を予定しておりましたが変更が決定しました。新しい日程は未定です。
- ・国際奉仕委員会（酒井副委員長）
 - ①第7回日台ロータリー親善会議・福岡大会（2020年3月6日（金））の申込締切は本日です。申込される方は、今日の例会中にご連絡下さい。登録料：22,000円。
 - ②ホノルル国際大会の「国際ロータリー第2580地区新本ガバナーナイト」は、2020年6月7日（日）19:00～21:00ハレクラニホテルにて開催されます。登録される方は、東京臨海RC事務局までお申込下さい。登録料：25,000円。



■出席状況報告：地引委員

⇒詳細1頁バナー下に掲載。

■ニコニコBOX報告：今井会員

- （ご意向）皆様、ごぶさたしております。榎本さんのお声かけで、本日、話させて頂きます。ありがとうございます。：林数馬様（東京iシティRC）
- （ご意向）毎回ありがとうございます。また次回お願いします。：榎本会員
- （ご意向）林さん、お久しぶりです。本日の卓話、楽しみです。宜しくお願いします。：佐藤正樹会長、高橋副会長、杉浦幹事、入澤会員、白幡会員、村社会員、井上会員、田村会員、勝間田会員、須藤会員、小松会員、柴田会員、佐久間裕章会員、今井会員、白井会員、山田会員、笹本会員、坂本康朋会員、酒井会員、大西会員

【22件 53,000円 今年度累計 878,000円】



■卓話（紹介者：榎本会員）



「経営に活かす仏教の教え

『六波羅蜜の前三』 布施・持戒・忍辱」

（株）おぼうさんどっとこむ 代表取締役 林 数馬様
（東京iシティRC会員）

六波羅蜜というものは、仏教の実践の修行法と言われておりまして、なぜ前の三つかというと、自分の身体や行為をもつて行うことができるものとして、後の三つは精進、禅定、智慧というものは心をもって、碎いていかないと出来ないもの。基本的には身体やその行為を使っていけないと自分の日常や会社の経営は、最終的には心が付いてこない出来ないものではあるんですけど、まずは前の三つを皆さんにも心置きいただいて、どんな形で僕らが修行しているかということ、よくお彼岸と言われる春と秋にお墓参りに行ったりする機会があると思うんですけど、真西にご先祖がいるのでそちらに願うことを含めて一週間やるのですが、なぜ一週間かということ、これが六波羅蜜と深く関わっております。前の三日間で前三という行を仮にみんなさせていただくという形になっており、真ん中の中日で振り返っていただき、後半の三日間で心を整えるため精進、禅定、智慧、自分がどうやって努めていけばいいのか、そして心の在りどころをどう定めていけば

いいのか、そして最後、智慧というのは仏さんで言うところの悟りなので、どう自分の中からわだかまりみたいなのを全部外して、素晴らしいものを世の中にお届けできるかとうことになるんですけど、まずは前半の三つというのをお話させていただきます。これは実践する修行法なので、お坊さんでなくとも皆さんでできることです。布施、持戒、忍辱という三つなのですが、お布施というとお寺にお納めするお金とお考えかと思いますが、実はお布施というのには三つあります。財施、法施、無畏施という風にあります。財施というのがお寺に払う金品です。法施というのはお坊さんがお経を読むことなど、一貫して変わらないブレてはいけないものを表しています。そして最後、無畏施という恐れなき施しと書きますが、これは皆様が心がけて差し上げれば誰にでも出来ることなんです。商売を通して、その人の不安を取り除いて差し上げる。世の中の人ほとんど不安を抱えているので、こういう時に不安を取り除いてくれたならこれだけ支払いますよというものです。品質における価値を生み出せばできることになります。これだけのことをしてもらって、これだけのものをいただけるのであれば、ちっとも高くないよねというような行為を皆さんがしていかなければならないと思うんです。素晴らしい行い、素晴らしい製品、素晴らしいサービスというのは、高い安いでなくて、これだけのことをしてもらえらるのなら安いものだというように言ってもらえることを心掛けていく事が大事なんじゃないかと思えます。世の中にあって困らないものだからです。不安を取り除いて差し上げるという行為が無畏施という行為に当たります。もし不安に感じていることがわからなければ、それが何かを聞いて差し上げることから新しいサービス作りとか製品造りにつながっていくと思うので、この畏れをないようにして差し上げるというのが最善の品質につながるのだと思います。この布施というものは本来、広く施すという、世の中の人に善き行いをもって対応していくということになります。お寺にお金を払うことに定めず、自分出来ることはなんなのか。自分の商売を通した職業奉仕なのか。まずは世の中にある不安というものを取り除いていくことで、世の中に還元できることを考えて頂くことで、その後にある社是なども変わったり、財力がつけば世の中への還元することになってくると思います。逆順に考えて頂いた方が事業は発展するのではないのでしょうか。まず先に不安を取り除く行為をして、会社の方向性と事業の在り方が合っているのか。そして、その上にお金というものを頂けるようになってくると思います。それがお布施の理念です。他にも目配りや笑顔を向けたり、労りの言葉をかけたり、身体を使って人のために役に立つことであったり、心の気遣いをしたりすることもあると言われていますが、皆さんが気が付けば、難しく考えなくても出来ることだと思います。お彼岸の一日で考える日を造っていただいてもいいのではないかと思います。次に、持戒という戒めを保つということですけど、世の中に法律で規制されていることや常識だと

言われていることがあると思います。法律というのはそんなに簡単に変わりません。ですが常識というのは時代と共に変化します。30年前に一人一台携帯を持つ時代になるなんて誰も思っていなかったと思うんです。そのように変化していく中で、自分を戒める要素は法律しかないのでしょうか。そうではないと思います。自分の中に何かを留めて、世の中の変化に追いついていかざるを得ない時代の中で、戒めをもって、変わらないにはどうすればいいか。という部分も大切なんだと思います。自分の中で規律をもつことによって、それを守れる自分にしていくことが、持戒という事なんだと思います。人は弱いので、予め自分で諫めていくことが必要だと思います。最後は忍辱です。生きていけばいろいろなことが起こります。そんなとき、怒りを表面に出さず、辱めに耐えるということです。怒ることを知ること、怒ることのデメリットを体感できるので、これは良くないと気付けるのです。ぜひお彼岸には、前の三つが出来ているかを確認していただくと、後半の三つも心が整ってきて、ふらつなくなり、最終的には知識を智慧に昇華して世の中のために役立たせていただければ、それがゆくゆくは自分に還ってくるということになります。皆様の中に少しでも良い影響があれば幸いです。本日はありがとうございました。

■ 点鐘：佐藤正樹会長

会員インタビュー

貴方の会社、もしくは貴方の仕事の「目的・目標」を、各46文字以内で教えて下さい。

井上 晴貴 会員

会社の「目的」

訪問看護の世間的認知
会社の知名度の確立
訪問看護初の各タイトルを取る
業界の指標となる

会社の「目標」

離職率の低下 10%以下へ
利益率 10%
社会奉仕と人道的支援

ご協力、有難う御座いました。

2019～2020年度 家庭集会

テーマ「 四つのテスト 」

第1グループ 家庭集会 議事録 2019年11月13日

■山田会員

傾いた会社を軌道に乗せるためというのがそもそも、もっと長い文章であったものが最終的に4つになったようですが、簡単に訳し過ぎているような気がします。みんなにというのは取引先ということが基本的にはあったし、公平というより公正であるという意見もあるようです。基本的な道徳的なことなので、ロータリーに限ったことではないと考えています。こういう気持ちで常日頃から人間関係を考えればいいのではないかと思います。四つのテストが刻印されている Monument をたまに目にしますが、一般の人はどう思うのかを考えたりもします。

■篠塚慎之介会員

すごくいい文章だと思ってまして、近江商人の3方よしの考え方を思い出します。どちらかというとな商売上の取引先を意識したものというのが読み取れます。どんな職業においても、四つのテストの意味を理解して取引をしていけば上手くいくのではないかと思います。この精神を貫いていけば、どんな人間関係も上手くいくとも思います。非常に好きでして、私の指標となる言葉です。この言葉を伝えながら、早く新入会員を入れたいと思っています。

■高橋会員

歌になって覚えられました。意味は、商道徳なんだなと思いました。日本以外は性悪説なので、騙された方が悪いという考えですので、意味のあるものなのだなと思います。友達同士だと、不平等があるのが世の常ですが、商道徳的にはそうでないとならないので、とても良いものだと思います。

■杉浦幹事

人によっては、そんな綺麗事なんてできるのかという人もいると思う。個人的にはすごく好きで、理想的なところですので、もっともっと指標としてやっていきたいと考えています。また、時代がこれだけ変わっても世の中の原理原則は変わらないというところと、この先どのように変わっていくのか、変わらないのか、変えないのか、というところに興味があります。

■佐藤正樹会長

4番目のみんなのためになるかがずっと入ってくる言葉です。会社理念の中で関わる全ての方々に対して報恩しましょうというのがあり、すごく共感できます。入会して12年ですが、ロータリークラブには感謝しかないので、皆さんにご恩返しをしたいので、

4番目がずっと入ってきます。次に、3番目の好意と友情を深めるかというところで、会長を終えた後に追求していきたいと思っています。1番の真実かどうかですが、本当のことが必ずしも正しいとは限らないと思っています。2番目のみんなに公平かというところですが、自分よりも先輩との関係では公平でなくともよいと思っています。

■村社会員

ロータリー辞典を見ながら勉強しました。もともとハーバート テラーさんという方が1932年の世界大恐慌の時に、企業の再生を図った際に、人種、宗教が違う中でどうしたらいいかを考えて出来たものようです。職業奉仕の部分がかかなり強い気がします。3番と4番が相反するもので、好意と友情を深めすぎるとみんなのためにならなくなってしまうという解釈や、真実も、取り方によっては、全部言うことが真実なのか、言わないことが真実なのかといったこと、公平と公正の取り方など、深い文章だと思います。会社には理念などはないのですが、この文章を解釈して社員に伝えることはできると思います。議論は尽きない深い文章であると思います。また、職業を中心に考えるのがロータリークラブなんだなと思いました。

■齋藤会員

公明正大さは大事なことなので、大きな枠で世の中の人のためになっているのかということと、真実かどうかというのは、真心なんだと思う。その二つに絞られると思う。4つの文章は続いているという解釈をしています。

■入澤会員

12年経って、入会当時の紹介者に入会してよかったかを問われたが、回答は良かったです。入会前は非常に世界が狭かったのが、すごく広がりました。四つのテストを常に念頭に置いて仕事をするようになりました。吸収して仕事にも役立っていると思います。